

もしかしてあなたに当てはまるかも...?

## こんな方は膵がんにご注意ください

- 親子・兄弟姉妹が膵がんを発症した方
- 喫煙される方     飲酒される方
- 糖尿病の方     肥満の方
- 慢性膵炎、膵のう胞などの膵臓の病気がある方

少しでも不安のある方は、専門医または当院のスタッフにご相談ください。

医療機関名

検査料(税込) ¥

「もしも」を考える。  
「未来」につながる。

もしも、自分やご家族が膵<sup>すい</sup>がんだったら？



日本初<sup>\*1</sup> いつもの検査に安心をプラス+

膵<sup>すい</sup>がんメッセンジャーRNA血液検査のご案内

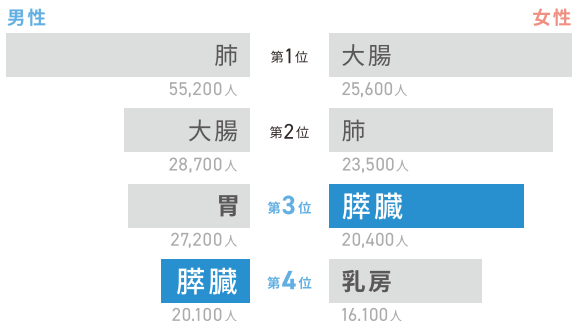
この検査は現在保険診療の対象ではありません。  
自費診療となりますのでご注意ください。



# 治療が困難な「<sup>すい</sup>膵がん」の代表格

男性の死亡数は胃がんに次ぐ**第4位**、  
女性では乳がんよりも多い**第3位**です。

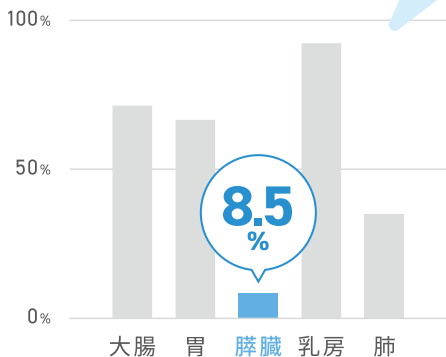
予測がん死亡数 (2023年)



国立がん研究センター がん情報サービス

また、診断後の生存率が極めて低く、**がんの中でも特に治療が難しい**といわれています。

診断例の5年  
相対生存率  
(2009-2011年/男女)

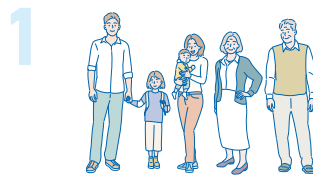


国立がん研究センター がん情報サービス

## その理由は主に次のとおりです

- おなかの奥に膵臓があるため画像による診断が難しい
- 初期症状が現れにくく発見が遅れやすい
- 他の臓器へがんが転移しやすい
- 一般的な健康診断では膵臓がん検査が行われていない

そして、これまでの研究で、以下に該当する方は、**膵臓がんになるリスクが高い**ことが分かっています。



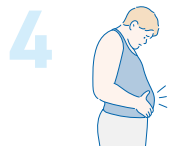
1 **ご家族が膵臓がんを  
発症したことがある**



2 **喫煙される方**



3 **飲酒される方**



4 **肥満の方**



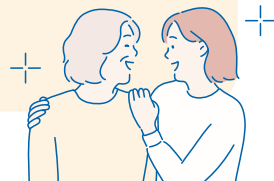
5 **糖尿病や  
膵臓の病気がある方**

## でもご安心ください

早期に見つけることができれば治る可能性が高い病気ですので、できるだけ早く発見して治療を始めることが大切です。

最近では、画像診断装置の性能の向上や新しい検査方法も登場しています。

今回ご紹介する「**膵臓がんメッセンジャー-RNA血液検査**」もそのひとつです。



# 膵がんメッセンジャーRNA (mRNA) 血液検査の特徴



日本で初めて\*1

従来の腫瘍マーカーとは異なる測定原理で\*2\*3、  
体内で膵がんが生じた際に現れる特徴的な  
遺伝子発現のパターンを調べます。



カンタン検査

採血だけの簡単な検査です。  
検査前の食事制限はありません。

優れた検査精度\*4

膵がんの進行度(ステージ)にかかわらず、優れた検査精度を示します。

陰性

陽性



がん細胞

感度

(がんの方をがんと  
判定できる割合)

85.2%  
(46/54)

ステージⅠ・Ⅱ 78.6%(11/14)  
ステージⅢ・Ⅳ 87.2%(34/39)

陽性

陰性



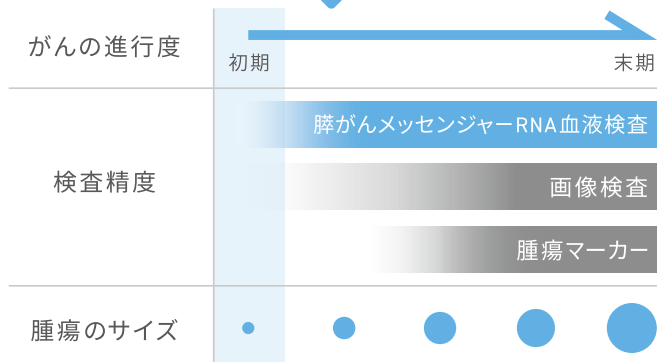
特異度

(がんではない方をがんではないと  
判定できる割合)

86.7%  
(130/150)

がんの進行度と検査精度(イメージ)

膵がんメッセンジャーRNA血液検査は発見が遅れやすい膵がんを優れた精度で早期に検出できます。



## 検査原理

STEP

1



がん細胞が膵臓に発生

STEP

2



免疫細胞が膵がんを認識

STEP

3



膵がんに対して特徴的な複数の  
メッセンジャーRNAを免疫細胞が生成

STEP

4



血液に含まれるこれらの  
メッセンジャーRNAをチェック



## よくあるご質問

**Q** 初期の膵がんも見つけることができますか？

**A** がんの進行度(ステージ)に関わらず良好な感度(がん患者をがんと判定できる割合)を有しています。

**Q** 健康診断を定期的を受けていますが、この検査も受けた方がよいのでしょうか？

**A** 一般的な健康診断では膵がんを対象とした検査は行われなことが多いため、特に、2ページにお示した高リスクな方は定期的にこの検査を受けていただくことをおすすめいたします。

**Q** 薬やサプリメントを飲んでいても検査を受けることができますか？

**A** 可能です。但し、免疫抑制剤、副腎皮質ホルモン剤、抗悪性腫瘍剤を服用、または投与されている場合、正しい検査結果が得られないことがあります。詳しくは医師にご相談ください。

**Q** 他の検査との違いは何でしょうか？

**A** この検査は膵がんの診断補助を目的とした新しい検査で、進行度(ステージ)にかかわらず良好な感度(がん患者をがんと判定できる割合)を示すのが特徴です。

**Q** この検査を受けて陽性判定が出た場合はどうしたらよいですか？

**A** 精密検査について検討されることをおすすめいたします。検査を受けられた医療機関の医師にご相談ください。

\*1 膵がんの診断サポートを目的として、膵がん患者特有の遺伝子発現パターンを検出する体外診断用医薬品を使用した、日本で初めての検査です。

\*2 Sakai, Y. et al. Development of novel diagnostic system for pancreatic cancer, including early stages, measuring mRNA of whole blood cells: Cancer Science 2019 ; 110(4):1364 -1388.

\*3 Honda, M. et al. Differential gene expression profiling in blood from patients with digestive system cancers : Biochem Biophys Res Commun 2010 ; 400(1) : 7-15.

\*4 (株)キュービクス社内資料(承認時評価資料)。